

令和2年度 箱根町社会福祉協議会事業報告書

①.	法人運営事業	…P1
②.	調査研究事業	…P5
③.	企画広報事業	…P5
④.	部会委員会事業	…P6
⑤.	福祉総合相談事業	…P7
⑥.	ボランティアセンター活動事業	…P9
⑦.	地域福祉推進事業	…P12
⑧.	共同募金配分金事業	…P16
⑨.	日常生活自立支援事業	…P19
⑩.	資金貸付事業	…P19
⑪.	地域活動支援センター事業	…P21
⑫.	生活支援コーディネーター事業	…P23
⑬.	基金運営事業	…P25
⑭.	居宅介護支援事業	…P25
⑮.	訪問介護事業	…P26
⑯.	障害者居宅介護事業	…P27
⑰.	通所介護事業	…P27
⑱.	地域包括支援センター事業	…P29
※	神奈川県共同募金箱根町支会	…P36

1. 法人運営事業

理事会、評議員会、監事会、評議員選任・解任委員会の運営について、役員を中心とした適正な法人運営を行いました。新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、各種会議の開催を書面によるみなし決議等へ変更するなど、柔軟な法人運営業務を行いました。

会員募集では本会事業の周知を行い、活動に賛同していただき、町内各世帯、企業・事業所等の皆さまが会員加入してくださいました。令和2年度から、法人会員を中心に事業の周知活動を兼ねて、地域活動支援センターで作製した刺し子雑巾をお礼として訪問し配布するなど、各会員の皆さまと顔の見える関係づくりを意識した活動を行いました。

サービス向上の取り組みでは、福祉サービス向上の取り組みとして苦情解決第三者委員会を開催し、苦情の解決及び福祉サービスの質の向上を図りました。令和2年度から新たにサービス向上目標を毎月設定し、職場内でのサービス向上に向けた意識改革を行いました。

(1) 理事会

①第1回 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のためみなし決議（決議の省略）

決 議 書面による決議の省略（令和2年5月27日付）

- 内 容 第1号議案 令和元年度事業報告並びに決算報告
第2号議案 定款の変更について
第3号議案 評議員選任・解任委員会委員の選任について
第4号議案 評議員候補者の推薦について
第5号議案 評議員選任・解任委員会の開催について
第6号議案 定時評議員会の開催について

②第2回

日 時 令和2年8月21日（金） 午後 2：00 ～ 2：40

場 所 箱根町社会福祉協議会 会議室

出席者 理 事 9名（意見書提出 1名）

監 事 2名

事務局 2名

- 内 容 第1号議案 顕彰規程に基づく顕彰者の決定について
第2号議案 定款施行細則の制定について
第3号議案 評議員候補者の推薦について
第4号議案 評議員選任・解任委員会の開催について
報告第1号 会長及び常務理事の職務の執行状況について

③第3回

日 時 令和3年3月10日(水) 午後 2:00 ~ 3:25

場 所 箱根町社会福祉協議会 会議室

出席者 理 事 9名(意見書提出 0人)

監 事 2名

事務局 3名

内 容 第1号議案 専決処分の承認を求めることについて
「ボランティアセンター運営委員会委員の委嘱について」
第2号議案 専決処分の承認を求めることについて
「職員給与規程の一部改正について」
第3号議案 令和2年度補正予算について
第4号議案 第6次地域福祉活動計画(案)について
第5号議案 令和3年度事業計画(案)並びに予算(案)
第6号議案 役員候補者の推薦について
第7号議案 評議員会の開催について
報告第1号 会長及び常務理事の職務の執行状況について

(2) 評議員会

①第1回 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のためみなし決議(決議の省略)

決 議 書面による決議の省略(令和2年6月12日付)

内 容 第1号議案 令和元年度事業報告並びに決算報告

第2号議案 定款の変更について

報告第1号 評議員選任・解任委員会委員の選任について

②第2回

日 時 令和3年3月23日(火) 午後 2:00 ~ 3:00

場 所 箱根町社会福祉協議会 会議室

出席者 評議員 14名(意見書提出5人)

監 事 0名

事務局 3名

内 容 第1号議案 令和2年度補正予算について
第2号議案 令和3年度事業計画(案)並びに予算(案)
第3号議案 役員の選任について
報告第1号 職員給与規程の一部改正について
報告第2号 第6次地域福祉活動計画について

(3) 監事会

①第1回

日 時 令和2年5月15日(金) 午後 2:00 ~ 3:00

場 所 箱根町社会福祉協議会 役員室

出席者 監 事 2名

事務局 2名

内 容 令和元年度事業・決算報告について

(4) 評議員選任・解任委員会

①第1回

日 時 令和2年7月1日(水) 午後 2:00 ~ 3:00

場 所 箱根町社会福祉協議会 役員室

出席者 委 員 3名

事務局 1名

内 容 第1号議案 評議員の選任について(評議員1名)

②第2回

日 時 令和2年9月1日(火) 午後 2:00 ~ 2:30

場 所 箱根町社会福祉協議会 役員室

出席者 委 員 3名

事務局 1名

内 容 第1号議案 評議員の選任について(評議員2名)

(5) 会員募集

日 時 随時

対 象 住民一般、法人(個人・世帯、団体・企業)等

【一般会費】

個 人 3,787口 1,133,900円 (対前年度比 △33,800円)

団 体 28口 140,000円 (対前年度比 △25,000円)

【賛助会費】

個 人 60口 60,000円 (対前年度比 21,000円)

団 体 61口 610,000円 (対前年度比 70,000円)

【合 計】 3,936口 1,943,900円 (対前年度比 32,200円)

(前年度) 4,017口 1,911,700円

会費収入については、住民の減少に伴い一般会費は年々減少傾向にありますが、

周知活動を継続的に行ったことが徐々に法人を中心とした賛助会員の結果に反映してきています。会費による協力だけの関係にとどまらず、顔の見える関係を作り、地域福祉活動への協力等に結び付けていけるよう、会員の皆さまとの関係・連携強化を図っていきます。

(6) 連絡・調整

行政、福祉関係団体・機関等との連絡調整、情報交換等を必要に応じて実施しました。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症に伴う貸付等の事業を効果的に実施するため、神奈川県社会福祉協議会並びに自立相談支援機関ほっとステーション小田原、箱根町、神奈川県との連絡・調整を密に行いました。また各種打ち合わせ等については、オンライン会議や書面会議などを活用し実施いたしました。

- 箱根町福祉課との打ち合わせ（2カ月に1回）
- 令和2年度市町村社協部会会長会事務局長会
- 令和2年度市町村社協部会職員会
- 令和2年度西湘地区社会福祉協議会連絡会
- 介護事業者等ネットワーク（地域包括支援センター主催）
- 近隣社協情報交換会 等

(7) サービス向上に関する取組

○苦情解決第三者委員会

方 法 ※新型コロナウイルス感染症のため書面による開催

内 容 苦情解決第三者委員会について

苦情及び解決結果について

情報交換について

(8) サービス向上目標に関する取り組み

○目標の内容

- 4月 接遇・マナー月間 「気持ちの良い言葉を使おう」
- 5月 スケジュール強化月間 「1日8時間の勤務時間を有効に使おう」
- 6月 衛生管理・整理整頓月間 「清潔な施設でご利用者をお迎えしよう」
- 7月 交通安全・安全運転月間 「交通ルールを守り安全運転を心がけよう」
- 8月 健康管理月間 「ご利用者の健康管理・職員の体調管理を徹底しよう」
- 9月 防災月間 「防災に対する意識を高め、災害への備えをしよう」
- 10月 目標の振り返り月間 「自分・業務・職場の目標を振り返ってみよう」
- 11月 節約エコライフ月間 「身の回りの無駄をもう一度見直そう」
- 12月 心のゆとり月間 「ご利用者のゆとりある生活・心にゆとりある仕事を」

- 1月 理念月間 「心豊かで生きがいのある福祉のまちづくりを達成しよう」
- 2月 報・連・相月間 「組織内の連携を強化し切れ目ない支援を徹底しよう」
- 3月 自己評定月間 「1年間の取組を評価し、新たな目標を設定しよう」

2. 調査研究事業

(1) 新規事業の調査、研究

住民の方々の意見を参考に、行政及び近隣社会福祉協議会との情報交換を密に行い、住民ニーズに即した新たな事業の創設に向けて調査・研究を進めました。

主な調査として、町内3地区（湯本・宮城野・仙石原地区）で発足した「地域のことを話し合う会」による住民ニーズの調査、第6次地域福祉活動計画策定のための住民懇談会や箱根町福祉課によるアンケート調査を基にした地域福祉に関する調査、地域の相談ステーション「もっともっと」による地区別の地域アセスメント・ニーズ調査等を行いました。

3. 企画・広報事業

(1) 機関紙発行事業

福祉情報の発信と福祉意識の啓発を図るため、広報紙「社協はこね」を年3回発行しました。

また、今年度はより迅速な情報発信を目指し、号外を2回発行するなど、福祉の情報提供を積極的に行いました。

- ・第1回発行 令和2年 6月1日
- ・第2回発行 令和2年 10月1日
- ・第3回発行 令和3年 2月1日
- ・号外第1回 令和2年 12月1日
- ・号外第2回 令和3年 3月1日

(2) ホームページ運営事業

ホームページを活用し社会福祉協議会の実施事業や福祉に関する情報、災害時の義援金等に関する情報の周知に努めました。

ホームページのブログやSNSを活用した情報発信により、本会事業の周知を積極的に行ったほか、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の流行に伴う特例の貸付相談の情報発信を速やかに行うなど、情報発信ツールとして活用しました。

また、相談窓口をわかりやすく表示し、ホームページを活用した総合相談機能の強化を図りました。

(3) 社会福祉大会事業

社会福祉にご尽力された方々の功績を讃え、併せて福祉の啓発・普及を図るために、社会福祉功労者顕彰式典を開催し、表彰状、感謝状及び記念品を贈呈する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から社会福祉大会（健康フェスティバル）が中止となった為、表彰状と記念品の贈呈については、戸別訪問により実施しました。

① 令和2年9月24日

対 象：個人表彰者様

訪問先：箱根恵明学園、箱根老人ホーム、アコモケアサービス、なごみの郷

② 令和2年10月13日

対 象：チーム糸へん様

訪問先：星槎大学箱根キャンパス

③ 令和2年10月13日

対 象：小田原青年会議所様

訪問先：小田原川東タウンセンターマロニエ 202 集会室

4. 部会・委員会事業

市民の善意の啓発とボランティア活動の振興を図ることを目的として設置しているボランティアセンターの適正な運営を図るため、ボランティアセンター運営委員により令和3年度の寄付金配分案についての意見を聴取しました。

(1) ボランティアセンター運営委員会

① 第1回ボランティアセンター運営委員会

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面会議

内 容 令和元年度事業報告

令和元年度受託金品配分報告

令和2年度事業計画

② 第2回ボランティアセンター運営委員会

日 時 令和2年10月30日（金） 午前10:00 ～ 11:30

場 所 箱根町社会福祉協議会 役員室

内 容 令和2年度経過報告

令和2年度受託金品配分の審議

令和3年度活動事業計画（案）

5. 福祉総合相談事業

多様化する福祉問題に幅広く専門的に対応するため、社会福祉士、介護支援専門員、介護福祉士等の国家資格を有する相談員が常駐し、問題解決の支援を行いました。

福祉の総合的な相談窓口として、幅広い内容の相談を一括して対応できるよう、所内での連携を強化し、総合相談の受付体制を構築しました。

令和2年12月から、地域共生社会の実現に向けた総合相談体制の強化として、新たな相談窓口「地域の相談ステーションもっともっと」を町内5地区に展開しました。箱根町の特性に基づき町内5地区に社会福祉協議会並びに地域包括支援センターの職員をそれぞれ地区担当として配置し、相談のすい上げ機能の強化・個別相談からの地域福祉活動への転換機能の強化、を図りました。

(1) 福祉総合相談事業

日 時	随時
場 所	事務局窓口 他
対 象	住民一般
内 容	社会福祉士等の専門家を相談員とする福祉に関わる総合相談
内 訳	1) ボランティア相談 5件（前年度比 △10件）
	2) 資金貸付相談 1570件（前年度比 +774件）
	3) 権利擁護に関する相談 918件（前年度比 △61件）
	4) その他福祉に関する相談 35件（前年度比 +27件）
	<u>計 2,528件（前年度比 +730件）</u>

令和2年度の総合相談は、合計 2,528 件となっています。これは新型コロナウイルス感染症に伴う生活困窮に関する相談の増加や、地区担当による地域の相談窓口の開設などにより、総合相談機能を強化した結果となります。

内容別に見ると、権利擁護に関する相談は前年度と比較し相談件数は減少しましたが、資金貸付相談に関しては、令和2年3月25日より開始した新型コロナウイルスに伴う特例貸付（緊急小口資金・総合支援資金）による相談が急増し、年度を通して相談が継続的にあり相談件数も急増しています。

すべての相談において、断片的な支援にとどまらず、複合的な福祉課題を抱える相談者に対し、各事業各分野の担当職員が連携し、継続的・伴走型の相談支援を行ったことにより、相談の延べ回数は年々増加しています。

(2) 地域の相談ステーション「もっともっと」地区別活動内容

① 湯本地区

担 当 3名（社会福祉協議会 山崎・杉山 ・ 地域包括支援 C 浅原）

- 主な取組 湯本地区社協理事会出席、お弁当テイクアウト事業所調査、ドライブインシアター等地域行事の参加、サロン・フードバンク等地域行事参加、つながり食堂（毎月第1木曜日）への来訪
- ② 温泉地区
 担 当 2名（社会福祉協議会 樋口 ・ 地域包括支援 C 相川）
 主な取組 個別相談受付、心配ごと相談出席、サロン・フードバンク活動参加、お弁当テイクアウト事業者調査、民生委員自治会役員等個別訪問
- ③ 宮城野地区
 担 当 2名（社会福祉協議会 山本 ・ 地域包括支援 C 竹森）
 主な取組 個別相談受付、地域のことを話し合う会出席、心配ごと相談出席、自治会出席、サロン・フードバンク等地域行事参加、お弁当テイクアウト事業者調査、買い物移動支援提案
- ④ 仙石原地区
 担 当 2名（社会福祉協議会 栢沼 ・ 地域包括支援 C 浅原）
 主な取組 個別相談受付、心配ごと相談出席、地域のことを話し合う会出席、お弁当テイクアウト事業者調査、サロン・フードバンク等地域行事参加
- ⑤ 箱根地区
 担 当 2名（社会福祉協議会 笹川 ・ 地域包括支援 C 平嶋）
 主な取組 個別相談受付、心配ごと相談出席、お弁当テイクアウト事業者調査、サロン・フードバンク等地域行事参加
- (3) 総合相談に関する打ち合わせ・勉強会
- ① コミュニティソーシャルワーク（もっともっと活動）打ち合わせ
 (1回目)
 日 時 令和2年11月30日(月) 午後5:00 ～ 6:00
 場 所 箱根町社会福祉協議会 会議室
 出席者 職 員 11名
 内 容 地区担当制総合相談体制の構築について
- (2回目)
 日 時 令和3年3月29日(月) 午後4:00 ～ 6:15
 場 所 箱根町社会福祉協議会 会議室
 出席者 職 員 11名
 内 容 令和2年度活動結果報告について

② 新型コロナウイルス感染症に伴う特例貸付に関する勉強会（計2回）

（1回目）

日 時 令和2年10月30日（金） 午後4：00 ～ 5：15

場 所 箱根町社会福祉協議会 事務室

出席者 職 員 11名

内 容 新型コロナウイルス感染症に伴う特例貸付について

（2回目）

日 時 令和3年2月22日（月） 午後4：00 ～ 5：00

場 所 箱根町社会福祉協議会 事務室

出席者 職 員 11名

内 容 緊急事態宣言再発令に伴う特例貸付の状況報告

6. ボランティアセンター活動事業

ボランティアの発掘及び育成とボランティア活動の振興を図るため、様々な講座を実施しました。また、各種ボランティア相談や活動の調整の他、活動を展開しているボランティアグループへの助成を行ないました。

箱根町ボランティア連絡協議会の事務局を担い、ボランティアセンター機能の充実とボランティア活動の振興を図りました。

(1) ボランティア育成講座『心を育むふくし講座』

【児童福祉に関する講座】

※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止となっています

○ 児童養護施設見学講座

日 時 令和2年4月17日（金） 午後1：30 ～ 3：00

場 所 児童養護施設 箱根恵明学園

講 師 箱根恵明学園 田崎 吾郎氏

【福祉観光ガイドボランティア養成講座】

※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から全て中止となっています

① 外出支援に関する講座1「車いす体験講座」

日 時 令和2年6月4日（木） 午後1：30 ～ 4：30

場 所 おだわら市民交流センターUMECO

講 師 本会職員

② 外出支援に関する講座2「車いす体験」

日 時 令和2年6月11日（木） 午後2：30 ～ 4：30

場 所 おだわら市民交流センターUMECO

講 師 本会職員

③ 外出支援に関する講座 3「視覚障がい者誘導法講座」

日 時 令和2年6月18日(木) 午後1:30 ~ 4:00

場 所 おだわら市民交流センターUMECO

講 師 神奈川県赤十字奉仕団

④ 障害理解に関する講座「発達障害学習講座」

日 時 令和2年6月25日(木) 午後1:30 ~ 4:00

場 所 おだわら市民交流センターUMECO

講 師 神奈川県発達障害者支援センターA

【障がい理解に関する講座】

※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止となっています

○ 障がい児の家族の気持ち

日 時 令和2年11月頃

場 所 未定

講 師 箱根町手をつなぐ育成会 那珂智子氏

【高齢者理解に関する講座】

※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止となっています

○ 高齢者理解に関する講座 1「高齢者の心と体について」

日 時 令和2年10月頃

場 所 未定

講 師 地域包括支援センター、デンマークイン箱根、箱根老人ホーム

(2) 雪かきボランティア事業

高齢や障がいのため、自宅の生活に必要な部分の除雪ができない方に対して、「雪かきボランティア」を行いました。

積雪による生活の困りごとを解消する目的と、今までボランティア活動をしたことのない中学生以上の方に「誰でも参加できるボランティア活動」としてボランティアに興味を持つきっかけ作りや、「地域にはちょっとしたことで生活に困ってしまう方がいる」ということに気付いてもらうことを目的に実施しました。

令和2年度は雪かきが必要な降雪がなく、ボランティア活動の依頼はありませんでした。

○ 雪かきボランティア

期 間 令和3年1月4日 ~ 3月31日

対象地域 全町

相談件数 0件
実働件数 0件
ボランティア登録者 23名（うち町内15名 町外9名）

- (3) ボランティア情報ネットワーク事業
インターネットによる関係機関等との情報交換・収集、ボランティアへの情報提供を行いました。
- (4) ボランティアの発掘と登録の促進
ボランティア活動の普及啓発活動を継続し、令和2年度末の登録者数は以下のとおりとなっています。
ボランティア登録者数 67名（令和3年3月31日時点）
ボランティアグループ数 10団体（ // ）
- (5) 災害ボランティアセンター設置運営
① 災害ボランティアセンター設置・運営訓練
「箱根町災害ボランティアセンター設置・運営マニュアル」に基づき、令和2年度は神奈川県社会福祉協議会より、被災地での災害ボランティアセンター経験のある職員を講師に迎え、災害ボランティアセンター運営側の訓練を主とした講義と実習を行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止となっています。
日時 令和2年8月7日（金） 午後1:30～3:00
場所 箱根町社会福祉協議会会議室及びピロティー
講師 神奈川県社会福祉協議会 主査 赤間 篤氏
- (6) 出前体験事業
例年実施している点字、手話に関する町内小学校での出前体験講座については新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度は学校からの依頼はありませんでした。なお、仙石原小学校では令和元年度に度実施した「社協の仕事紹介」が映像化され、令和2年度も福祉教育の一環として学校で活用されています。
- (7) ボランティアグループ活動助成事業
本会登録のボランティアグループのうち、7団体及び箱根町ボランティア連絡協議会へ活動費の補助を行いました。

○ 活動費補助

ボランティアグループ（7団体）	300,000 円
箱根町ボランティア連絡協議会	125,000 円
合 計	425,000 円

(8) ボランティアセンター寄付金等配分事業

ボランティアセンターに寄せられた寄託金等を、ボランティアセンター運営委員会の配分決定に基づき、社会福祉基金への積立金として配分を行いました。

① ボランティアセンター寄託金

寄付金	126,294 円
愛の小箱	166,878 円
合 計	293,172 円

② ボランティアセンター寄託物品（16件）

じゃがいも、雑巾、タオル、車イス、布、マスク、ジュース、介護用品、布団等

※寄付金はボランティアセンター活動事業を始めとした地域福祉事業への活用のため基金へ積立てたほか、使途の希望のある寄付金については対象事業の字事業費に活用しました。物品は本会及び、町内福祉施設、幼・保育園、学校等へ配付をおこなったほか、町内の必要とされている方へ配付を行いました。

7. 地域福祉推進事業

新たなサロン設置に向けたアプローチと既存のサロン活動の充実に向けた支援を行いました。各地区社会福祉協議会への助成や事務手続き等、活動の支援を行いました。

(1) サロン活動促進事業

すでに発足し活動しているサロンの運営に関し、助言、保険加入等の支援を行ったほか、活動費補助を行いました。また、新たにサロン活動を展開する地域の活動に参加し、立ち上げ等の活動に対する支援を行ないました。

令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、町内の全サロンが開催を休止した期間がありましたが、各サロンの中心となる方々と連絡を取り合い、「コロナ対策」「訪問型」等の提案をおこない、新しい生活様式に即した開催方法の検討をおこないました。

① 湯本やまゆり会

開 催 毎月10日前後

場 所 仲町集会所

参加者 約16名

参加費 1回100円

社協支援 活動助言、用具の貸出、年間予定表等文書作成

助成金 @4,000×12ヵ月=48,000円

主な活動 手芸、映画鑑賞、調理、歌、町内外施設の見学等

※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、緊急事態宣言中は活動を休止しました。

② 宮城野やまゆり会

開 催 毎月第3火曜日 第4日曜日

場 所 箱根町総合保健福祉センター2階会議室

参加者 約20名

参加費 1回100円

社協支援 活動助言、用具の貸出、参加者送迎支援の調整

助成金 @4,000×12ヵ月=48,000円

主な活動 手芸、軽スポーツ、歌、町内散策、グランドゴルフ（不定期）

※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、緊急事態宣言中は活動を休止しましたが、コロナ禍での活動として、クレヨン、色鉛筆のセットなど見守りを兼ね会員が配布し、参加者一人ずつが自宅でできる塗り絵や脳トレを実施しました。

③ 畑宿おしゃべり会

開 催 毎月第2金曜日

場 所 畑宿寄木会館

参加者 約6名

参加費 1回100円から昼食代程度

社協支援 活動助言、用具の貸出、参加者送迎支援の調整

助成金 @1,000×12ヵ月=12,000円

主な活動 お茶飲み、お話、歌

※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、活動を休止しました。

④ はこねばらの会

開 催 年3～4回の開催

場 所 宮城野温泉会館等

参加者 約15名
参加費 年会費1,200円と1回あたりの昼食代(500円程度)
社協支援 活動助言、提案、用具貸出
主な活動 軽スポーツ、食事会

※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、活動を休止しました。

⑤ 芦ノ湖サロン

開催 毎月第3水曜日
場所 元箱根集会所
参加者 約20名
参加費 1回100円
社協支援 活動助言、用具の貸出、チラシ作成
助成金 @4,000×12回=48,000円
主な活動 会食、軽スポーツ、脳トレ、体操、歌

※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、緊急事態宣言中は活動を休止しました。

⑥ ニノ平寄せ木サロン

開催 奇数月第3週末
場所 社会教育センター
参加者 約10名
参加費 1回100円~200円
社協支援 活動助言、用具の貸出
主な活動 お茶飲み、会食、手遊び、脳トレ、歌

※コロナ禍での活動として、会食は開催せず個人宅へ見守りも兼ねたお弁当の配布を行いました。

⑦ 大平台リンリン

開催 年間4回
場所 大平台集会所
参加者 約10名
参加費 1回100円から昼食代程度
社協支援 活動助言、用具貸出、チラシ作成
主な活動 食事・調理・歌・軽スポーツ・フードバンク食品配布会

※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から活動を休止した時期もありましたが、開催時にはフードバンクの食品配布会をサロンで開催する等の活動を行いました。

⑧ チーム糸へん

開 催 毎週水曜日
場 所 星槎大学箱根キャンパス
参 加 者 約10名
参 加 費 無料
社協支援 活動周知
主な活動 手芸、お話、食事会

※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、緊急事態宣言中は、活動を行っている会場が使用できない為、自宅でマスクやお雛様などを作成し、地域のために寄付するなどの活動を行いました。解除後は、会場でのサロン活動を再開しました。

⑨ きんとき寄せ木サロン

開 催 毎月第4火曜日
場 所 仙石原いこいの家
参 加 者 約20名
参 加 費 1回200円
社協支援 活動助言、用具貸出、チラシ作成、参加者送迎支援の調整
主な活動 体操、軽スポーツ、脳トレ、お話等

※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、活動を休止しました。

⑩ わくわく談話室

開 催 毎月第3火曜日
場 所 山崎集会所
参 加 者 約15名
参 加 費 1回100円
社協支援 活動助言、用具貸出、チラシ作成
助 成 金 今年度は活動していない為、申請はありません
主な活動 体操、軽スポーツ、脳トレ、お話当

※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、活動を休止しました。

⑪ 仲町麻雀会

開 催 毎週木曜日
場 所 仲町集会所
参 加 者 約5名
参 加 費 無料

社協支援 活動助言

主な活動 麻雀、食事会

※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、緊急事態宣言中は活動場所を変更するなどの対応を行っています。

(2) 地区社協活動補助事業

町内 1 か所の地区社協の活動費補助を行いました。

○ 湯本地区社会福祉協議会 助成金 130,000 円

※なお新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、仙石原地区社会福祉協議会は活動が休止となっており、活動費補助はありませんでした。

湯本地区社協では、例年おこなってきた「ふれあいのつどい」を中止し、新規事業として、地域内での見守りや困りごとの早期発見を目的とした「湯本たすけあいハンカチ」事業をおこなうこととなりました。事業の概要については以下のとおりです。

～「湯本たすけあいハンカチ」～ ※新規事業

地域住民に困りごとや手助けが必要な時に目印として身につけたり、家の外などに掲げ、ハンカチを発見した際は声掛けや必要な支援に繋がるよう連絡するなど、たすけあいハンカチを通じて湯本地区のつながりや住民間の見守り体制を強化することを目的とした事業です。

8. 共同募金配分金事業

神奈川県共同募金会箱根町支会として一般（赤い羽根）募金及び年末たすけあい募金を実施するとともに、共同募金配分金を主たる財源とする各種の福祉事業を展開しました。

(1) 高齢者福祉事業

○ 敬老祝品贈呈

祝い品 99 歳の方：寄木細工「五寸小物入れ（小寄木）」

100 歳及び 2 回目以降の方：寄木細工「印鑑ケース（箱型）」

対 象 99 歳 7 名

100 歳以上 12 名

計 19 名

(2) 障害者福祉事業

① 絵画ワークショップ&ミニコンサート

「ともしび運動」を啓発するとともに、「障害者週間」をPRし、知的障がい者への理解を深めることを目的に開催しました。併せて、令和2年11月30日～12月4日の期間に、障がい者の方々が描いた絵画展示を行いました。

日 時 令和2年12月1日(火) 午前10:00 ~ 午後1:00

場 所 箱根町役場本庁舎住民ホール

対 象 町内在住・在勤の方

参加者 絵画ワークショップ 13名、ミニコンサート 19名

内 容 [第1部] 絵画ワークショップ

講 師 日向野祥子

[第2部] フルートミニコンサート

演奏者 須藤 英二氏

② クリスマスつながり応援隊

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、例年実施している町内に在住する学齢期(高校生まで)の療育手帳所持者と町内3小学校の5・6年生児童の交流クリスマス会の代替として、小学6年生を対象にクリスマスカードの交換による交流を目的とした「クリスマスつながり応援隊」を実施しました。

社会福祉協議会の職員が、カードとともに町内のつながり食堂やボランティアの方に協力していただき用意したケーキや唐揚げなどを自宅に届け、カードの交換を通じた新しいつながりの形を目指し、事業を実施しました。

日 時 令和2年12月25日(金)

場 所 各自宅訪問

対 象 町内小学6年生 37名

内 容 クリスマスカードの交換

軽食の配布(クリスマスケーキ、からあげ、ポテト、じゃがいも)

協 力 個人ボランティア 鈴木美貴様 松沢裕二様

Coco-Hakone 様

報徳食品支援センター様

(3) ボランティア活動援護事業

ボランティア活動中の個人の事故に備えた「ボランティア活動保険」とボランティア行事全体の参加者の事故に備える「ボランティア行事用保険」の広報周知を行い、安心してボランティア活動やサロン活動が行えるように支援しました。

(4) 援護事業

○ はこね社協のはらぺこ救助隊

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、収入の減収があった世帯の子供と保護者の臨時休校中の緊急的な支援として、当該対象世帯へお弁当やお菓子などの臨時配食事業を行いました。

お弁当やお菓子の発注は地元商店やこれまで社会福祉協議会へ寄付等の協力のあった企業に依頼し、平時からのつながり・連携をいかした活動を行い、配食は社会福祉協議会が見守りを兼ねて訪問しお弁当やお菓子を届けました。コロナ禍における新たなつながり、見守り・困窮者支援の活動を行いました。

(1回目)

日時 令和2年5月22日、29日、6月5日、12日（すべて金）

計4回

対象 町内在住の子育て世帯 21世帯 48名

内容 臨時休校時の見守りを兼ねた町内商店のお弁当の無料配食

協力 喜之助様、おぐら屋様、あやぱん様、伊勢力様

その他配食協力ボランティア1名

(2回目)

日時 令和2年8月6日、13日、20日（すべて木）

計3回

対象 町内在住の子育て世帯 20世帯 44名

内容 夏休み期間中の見守りを兼ねた協力企業のお菓子等の無料配食

協力 仙石原Aコープ様、大涌谷くろたまご館様、マックスバリュ小田原荻窪店様、

(5) 年末慰問金配分事業年末たすけあい配分金事業)

年末たすけあい運動で寄せられた募金を、中央共同募金会から配布されている「募金活動実施にあたっての衛生配慮に係るガイドライン」に準じて、感染対策を行い、令和2年12月に町内小中学生のいる準要援護世帯に年末慰問金として配分しました。令和2年度は、報徳食品支援センターと連携し、食材の配布も併せて行ったほか、声掛けやチラシ配布など、その後の継続的な支援を意識した活動を行いました。

年間を通じた生活困窮者支援等の援護事業の実施により、各家庭と継続的なつながりができ、「顔なじみの社協」としてのかかわりが確立されてきています。

配分対象者 39人（30世帯）

配分額 195,000円

9. 日常生活自立支援事業

意志決定能力の低下した方や自立生活を送る上で支援を要する方等に対し、日常生活自立支援事業を中心に福祉サービスの利用援助を行いました。

(1) 日常生活自立支援事業（令和3年3月31日現在）

利用者数	6名（前年度比 Δ2）
令和2年度新規契約件数	1件（前年度比 ±0）
終了件数	3件（前年度比 Δ3）
従事者	専門員 2名（前年度比 ±0）
生活支援員	1名（前年度比 ±0）
専門員等訪問調査活動	62回（前年度比Δ10）
専門員生活支援員訪問回数	208回（前年度比Δ19）

① 福祉サービスの利用援助及び日常的金銭管理サービス

要支援者（軽度認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者、身体障がい者等で判断能力が不十分な方）の申請に基づき、介護保険制度などの福祉サービス利用手続きや日常的金銭管理を支援しました。

② 書類預かりサービス

各種証書、通帳、印章などの書類等を金融機関の貸金庫にてお預かりしました。

③ 契約締結相談

1名の外部相談員により、支援の実施状況の報告や新規相談の際の契約締結判断に関する相談を随時おこないました。

訪問件数の減少に関しては、施設入所中の方や病院入院中の方に関して、新型コロナウイルス感染症の影響により訪問することが困難となったことや、契約終了者が発生したことなどが主な理由となっています。訪問困難となったご利用者については、関係機関と連携し日常生活に影響が無いよう、神奈川県社会福祉協議会とその都度相談し柔軟な対応を行っています。

10. 資金貸付事業

神奈川県社会福祉協議会の委託事業である生活福祉資金貸付事業と、本会独自の事業であるたすけあい資金貸付事業を実施しました。

また、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う臨時の特例貸付事業（緊急小口資金・総合支援資金）の相談窓口及び申請事務を行いました。

資金貸付事業では、生活費に関わる相談をきっかけとし、資金の貸付だけではなく、生活にかかわる手続きの同行や食料等の支援など、相談者の生活の自立を意識した伴走的な生活全般に関わる相談対応を実施しました。

新型コロナウイルス感染症の影響による特例貸付については、常に状況が変わる中、相談者の相談内容や置かれた状況により柔軟な相談対応を行い、生活困窮者自立支援制度に基づく相談機関等、様々な機関と連携し相談者を中心とした支援を行いました。

また、これらの特例貸付の相談での住民の困窮状況を踏まえ、食糧支援の必要性があったことから、“ゴンとお母さんからのおすそわけ”として食糧支援事業を新たに実施いたしました。

(1) 生活福祉資金貸付事業（県社協受託事業）

期 間 随時

対 象 町内在住者

貸付件数 10 件

内訳：緊急小口資金 8 件

教育支援資金 2 件 計 10 件

貸付決定額 917,000 円

内訳：緊急小口資金 8 件

教育支援資金 2 件 計 10 件

借受人数 2 名（令和 3 年 3 月 31 日現在）

※ 新型コロナウイルス感染症にかかわる特例貸付事業

期 間 随時

対 象 新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した町内に
居住実態のある在住者

相談件数 1,570 件（他制度における支援対象となった相談を含む）

新型コロナウイルス感染症に関する貸付相談では、生活保護へ繋がる相談が増加しており、神奈川県や自立相談支援機関「ほっとステーション小田原」など生活困窮に関する関係機関と連携し、生活保護初回支給日までの生活費として貸付を実施するなどの対応を行っています。

(2) たすけあい資金貸付事業

期 間 随時

対 象 町内在住6ヶ月以上で他に援助が受けられず、民生委員が認めた
世帯

貸付件数 0 件

貸付金額 0円
 償還指導 個別対応

- (3) ゴンとお母さんからのおすそわけ ※新規事業
 期 間 令和3年2月下旬 ～ 3月末 (現在も実施中)
 対 象 新型コロナウイルス感染拡大の影響により減収した世帯 等
 支 援 件 数 18件
 協 力 団 体 報徳食品支援センター様、セブンイレブンジャパン様

11. 地域活動支援センター事業

箱根町からの受託事業として、地域の障がい者の為の支援対策として箱根町地域活動支援センター『レインボー』を運営しました。

(施設長1名、指導員3名 活動時間 月～金 午前9:00～午後5:00)

(1) 利用者数(令和3年3月31日現在)

利用者は、知的障がい者3名の計3名となっています。年間新規相談件数は2件となっています。

【月別延べ利用者推移】

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
合計数	30	22	28	27	27	24	28	22	32	24	31	34	329
前年度比	▲27	▲23	▲25	▲28	▲33	▲24	▲12	▲13	▲4	▲14	▲4	▲1	▲208

利用者数は1名減となっています。新型コロナウイルス感染症の影響により利用日数が少なくなっている利用者やお休みをされている利用者が複数名います。各種相談会や関係機関と連携し周知活動を行っていますが、新規相談件数も減少傾向にあります。引き続き施設の周知活動を行い、必要な方に必要なサービスが提供できるよう努めていきます。

また、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、各種行事の大半が中止となってしまいましたが、コロナ禍でのあらたな活動・参加として、月1回のドライブや行楽、美化清掃活動を通じた地域との交流機会の確保など、感染症に配慮した新しい取り組みを多く取り入れ、ご利用者への支援内容の充実化を図りました。

(2) 活動内容

内 容 菓子箱折り

刺し子雑巾・ちぎり絵・紙すきはがきの作成

その他作品販売（アクセサリー、巾着等）

収 益 作業収入合計額 233,646 円

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から各種バザーが中止となり、定期的に行っていた箱根町役場での訪問販売については2回のみの実施となりました。

(3) 行事・イベント参加

① 第59回箱根町民文化祭

日 時 令和2年11月6日（金）～8日（日）

場 所 社会教育センター

参加者 利用者4名、本会職員

内 容 販売作品の展示

② 避難訓練（箱根町総合保健福祉センターさくら館にて実施）

日 時 令和3年3月26日（金） 午前1：00 ～ 1：15

場 所 箱根町総合保健福祉センターさくら館

参加者 利用者1名、本会職員

内 容 火災を想定した避難訓練

③ 夏祭り行事

日 時 令和2年9月17日（金） 午前11：00 ～ 午後2：00

場 所 はこね社協サービスセンターデイサービス

参加者 利用者2名、本会職員

内 容 デイサービスでの夏祭り行事への参加

④ 焼き芋作り

日 時 令和2年11月19日（金） 午後1：30 ～ 午後2：30

場 所 はこね社協サービスセンターデイサービス

参加者 利用者2名、本会職員

内 容 焼き芋作り

⑤ 各種レクリエーション

日 時 随時

場 所 地域活動支援センターレインボー

参加者 利用者3名、本会職員
内 容 クリスマスケーキ（ホットケーキ）作り
イチゴを使ったデザートパーティー 等

⑥ 各種外出行事

日 時 随時
場 所 箱根町内
参加者 利用者3名、本会職員
内 容 桜・すすき・紅葉見物、散策 等

⑦ ボランティア活動（町内美化清掃）

日 時 毎週金曜日
場 所 箱根町内（主に宮城野地域）
参加者 利用者3名、本会職員

その他、例年参加していた箱根町健康福祉フェスティバル、仙石原文化センターまつり、県政地区障害者文化事業、クリスマス行事、各種バザーについては新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止となっています。

12. 生活支援コーディネーター事業

(1) 生活支援サービスの調査及び新規開発について

生活支援コーディネーターが地域に深くかかわり、地域に「住民による生活支援活動」の機運が高まるように活動を継続しました。

令和元年度から町内の各地で推進している「地域のことを話し合う会」は、仙石原・湯本地区の一部地域のほかに、宮城野地区でも開始され、強羅地域でも開催の機運がたかまっています。

(2) 生活支援サービスの活動支援及び利用支援のコーディネートについて

① 大平台あじさいの会に関する活動支援

活動内容を把握し、活動周知のチラシの作成や活動に関する相談の受け付け、活動助成金に関する側面的支援を継続しました。

令和2年度は新規活動を会員の皆さんと考え、地域内の団体や、フードバンク活動をおこなうNPOと連携した「見回り訪問」を開始することとなりました。

② 利用支援のコーディネート

大平台あじさいの会の利用相談については、利用希望者と大平台あじさいの会

で直接相談がおこなわれています。

平成30年度より実施している訪問散髪の名称を「ハッピーバーバーはこね」とし、利用を希望する住民と活動者との橋渡しをおこないました。

その他地域の生活支援活動者を把握し、「網戸入れ替え」「家具の移動」「草刈り」「ガス台交換」等の活動をコーディネートしました。

生活支援コーディネーターが紹介できる担い手の方は増加しており、各地域で様々な“困りごと”に対応しています。

(3) 町内のサロン活動支援について

地域福祉担当と連携し、コロナ禍でのサロン開催方法について検討しました。“地域の集いの場”として住民に定着しているサロンが継続できるよう、コロナ禍での新たな形での開催ができるように支援しました。

サロン連絡会の開催は1回のみとなりましたが、コロナ禍でのサロンの開催方法の検討やサロン間の交流が行われました。

(4) 町内福祉関係団体とのネットワーク形成について

「地域のことを話し合う会」の推進を継続しており、仙石原地区や湯本地区仲町のほかに宮城野地区でも新たに話し合う会が開催されました。

仙石原では買い物や通院等の外出時に役立つ「コミュニティバス にこにこ号」の運行について話し合われており、仙石原の住民を対象としたアンケート調査の実施後、令和3年夏頃の運行開始を目指しています。

宮城野では「災害に強い地域づくり」をテーマとして話し合われており、“災害に備えるための日頃からのつながり”を構築できるよう住民の皆さんと社会福祉協議会で、つながりづくりについて検討しております。

強羅では自治会との話し合いの中で、強羅自治会をベースとした「地域のことを話し合う会」の開催について検討がなされています。

今後もコロナ禍の状況をふまえ、各地域での「地域のことを話し合う会」の開催を推進します。

(5) 新規生活支援ボランティアの発掘・育成について

小田原市内の相洋高校ボランティア部及びインターアクト部による、箱根町内でのボランティア活動の可能性について、学校との打ち合わせを行いました。新型コロナウイルス感染症の影響により、実際の活動には至りませんでした。新規生活支援ボランティアの発掘について今後も活動を行っていく予定です。

13. 基金運営事業

(1) 社会福祉基金の積立

寄付金及び預金利息の一部を社会福祉基金として積み立て、適正な基金運営を行いました。

新規積立額 社会福祉基金 271,150 円

(2) 基金現在高

社会福祉基金 19,055,642 円（前年度末 18,784,492 円）

介護事業積立金 9,617,000 円（前年度末 9,617,000 円）

ボランティア積立金 906,951 円（前年度末 906,951 円）

14. 居宅介護支援事業

(1) 居宅介護支援事業

はこね社協サービスセンター居宅介護支援事業所として要介護認定を受けられている方に対し、介護保険法に基づく居宅介護支援事業を主任介護支援専門員 1 名、介護支援専門員 1 名で行いました（令和 2 年 11 月 1 日時点で主任介護支援専門員 1 名体制となっています）。今後、ケアマネジャーの不足する町内において、安定したサービス提供が行えるよう、各関係機関と連携し引き続き事業を進めてまいります。

【月別・要介護度別延べ利用者推移】

（単位：人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介1	30	29	32	34	35	34	34	16	17	16	18	20	315
介2	20	18	19	19	18	16	15	9	10	10	12	11	177
介3	8	9	7	8	7	11	11	10	10	9	6	6	102
介4	4	4	4	3	3	3	2	2	1	1	1	1	29
介5	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	6
合計数	63	61	63	65	64	65	62	37	38	36	37	38	629
前年度比	△22	△14	△14	△3	6	9	7	△21	△22	△26	△27	△31	△378

(2) 介護予防支援事業

要介護認定の町民の方々を中心に支援を行ったため、令和 2 年度は介護予防支援事業の実施はありませんでした。

(3) 認定調査等

要介護認定申請を受けて実施される要介護認定調査について、箱根町その他、他市区町村から依頼に基づき、本会ケアマネジャーにより調査を受託実施しました。

【認定調査受託市区町村】

横須賀市、茅ヶ崎市、愛川町 計 3 件

15. 訪問介護事業

はこね社協サービスセンター訪問介護事業所として介護保険法に基づく訪問介護及び介護予防訪問介護を管理者 1 名、サービス提供責任者 2 名のもと非常勤 4 名のホームヘルパーにより行いました。(令和 3 年 3 月 31 日現在)

【月別・要介護度別延べ利用者推移】

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
支1	38	33	37	37	34	26	23	28	20	25	24	27	352
支2	33	24	33	38	37	49	41	37	48	33	31	36	440
事業対象	4	3	4	5	4	0	0	0	0	0	0	0	20
介1	164	154	176	190	154	186	212	183	164	165	171	170	2,089
介2	57	48	60	60	45	43	54	63	47	47	51	52	627
介3	28	31	37	43	42	43	58	50	48	44	39	37	500
介4	32	31	33	27	32	39	48	46	40	39	36	51	454
介5	11	10	13	17	11	14	13	12	12	12	12	13	150
合計数	367	334	393	417	359	400	449	419	379	365	364	386	4,632
前年度比	17	27	76	65	30	69	99	55	38	44	50	47	617

介護保険法に基づき要介護者及び要支援者に対し、訪問介護サービスを提供し、個々の能力に応じて自立した日常生活が営めるよう努めました。また、利用者の人権を尊重し、常に利用者の立場に立ったサービス提供に努めました。

令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染症の収束の兆しが見えない中で、嚴重な感染予防対策の対策を行い事業を継続し、訪問件数も前年度と比較し、617 件の増となっています。

今後も住民のニーズを優先し利用者に寄り添ったサービスが提供できるよう運営を行っていきます。

16. 障害者居宅介護事業

はこね社協サービスセンター居宅介護事業所として障害者総合支援法に基づく居宅介護をホームヘルパーにより行いました。(令和3年3月31日現在)

【月別延べ利用者推移】

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
合計数	14	17	16	16	14	15	19	15	14	15	13	14	182
前年度比	△14	△11	△12	16	△14	△13	19	△13	△12	△1	△3	△2	△60

17. 通所介護事業

介護保険法に基づく地域密着型通所介護、総合事業（通所型サービス）を、定員10名に対し、管理者1名・生活相談員3名・介護職員4名・機能訓練指導員1名、送迎員1名の職員により行いました。(令和3年3月31日現在)

「1人1人が主役になれるデイサービス」をモットーに、通所が楽しくなるよう、利用者様の得意分野や趣味を生かしたレクリエーションの提供を心がけ運営を行いました。平成23年2月から始まった当デイサービスはおかげさまで10周年を迎え、利用者様と記念のトートバッグを作成しました。

また、5月は新型コロナウイルス感染症予防のため一日の利用者人数を制限して運営を行いましたが、その後、感染症対策を徹底し、通常通りの受け入れを行っています。マスク着用、検温を利用者様へお願いするとともに、物品の消毒、席順の工夫、換気対策、密にならないレクリエーションの提供などを実施しています。

【月別・要介護度別延べ利用者推移】

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
支1	15	10	23	23	23	20	21	14	13	13	19	22	216
支2	12	9	17	13	17	20	18	13	11	13	16	18	177
介1	68	49	80	84	90	96	103	102	102	103	113	122	1,112
介2	36	21	49	39	34	38	16	14	15	14	17	20	313
介3	32	21	33	29	32	34	36	26	24	19	17	19	322
介4	4	5	8	6	1	0	9	7	0	0	0	0	40
介5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計数	167	115	210	194	197	208	203	176	165	162	182	201	2,180
前年度比	8	△24	56	△1	15	49	29	△10	△18	0	17	12	133
利用平均	7.5	6.6	9.5	8.4	9.3	9.4	9.2	8.8	7.8	8.1	9.1	8.7	8.5

【行事・会議】

(1) 社協まつり

新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、開催を中止いたしました。

(2) 避難訓練

日 時 令和2年10月12日(月)～16日(金)全5日間

午前10:30～10:45

場 所 デイサービス居室、箱根町社会福祉協議会玄関ホール

参加者 利用者延べ46名、デイ職員3名、ボランティア1名

事務所応援職員2名

内 容 ・地震発生時の安全確保

・玄関への避難行動

・自宅での防災について意見交換

各曜日1回ずつ実施しました。円滑な避難行動と、余震の危険性を考え、利用者様全員に車イスに乗っていただき、職員が玄関までお連れしました。

(3) 運営推進会議

デイサービスの運営を地域に根差し、利用者様やご家族によりご利用しやすいサービスにするため、行事や利用状況の報告・意見交換を行いました。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、文書の配付とアンケート収集により実施しました。

① 第1回 令和2年12月配付

内 容 ・活動報告

・リスクマネジメント(事故防止の取り組み、事故報告)

・新型コロナウイルス感染症対策について

② 第2回 令和3年3月配付

内 容 ・活動報告

・リスクマネジメント(事故防止の取り組み、事故報告)

・新型コロナウイルス感染症対策について

・10周年について(トートバッグ配付)

・youtubeへの音声使用のお願い

対象者 利用者家族、民生委員、箱根町福祉課、地域包括支援センター、
本会職員

(4) その他レクリエーション等

夏祭り、焼きいも大会、干物まつりの他、利用者様のリクエストや特技を活かした調理レクなどを実施しました。

18. 地域包括支援センター事業

町からの受託事業として看護師、社会福祉士、主任介護支援専門員、介護支援専門員の4職種（各1名計4名）により、地域包括支援センターを運営しました。

I 総合相談

(1) 総合相談支援

高齢者の日常生活や保健・医療・福祉に関することなど、総合的な相談窓口として開設し、電話や訪問、来所などによる相談対応にあたり、各地区で行われた心配ごと相談等への参加など情報収集に努めました。

【相談内容・件数】

介護に関すること	139件
権利擁護に関すること	6件
ケアマネジメント支援に関すること	5件
その他	48件
合計	198件

【相談経路】

家族・親戚	29.3%
行政機関	19.2%
ケアマネジャー	5.1%
医療機関	16.7%
本人	7.1%
民生委員	5.1%
知人	9.1%
サービス事業所	3.0%
その他	5.6%

(2) センターの周知活動

パンフレットの回覧及び関連機関への設置や敬老会等町の事業を通じたの事業紹介を実施するとともに、社会福祉協議会広報誌やホームページへ情報を掲載しました。また、令和元年度作成したPRカードも活用し、関連機関へ設置を行いました。その他、当センターの主催による住民を対象とした介護予防運動教室や相談会などを開催し、併せて周知を図りました。

(3) 社会資源の実態把握・ネットワーク構築

課題を抱えた高齢者が、様々な社会資源をより効率的に活用できるよう、圏域における社会資源調査を実施し、高齢者への支援体制を把握しました。さらに調

査の結果は「お年よりの便利帖（冊子）」にまとめ、住民へ全戸配布しました。また、社会福祉協議会のホームページに掲載している高齢者等社会資源ネットワーク一覧については、最新の情報に更新しました。

(4) 介護・福祉・医療相談会・お年寄りの1日電話よろず相談の実施

地域における高齢者の困りごとや、高齢者の介護に関する悩みなどを地域ケア会議につなげ解決を図るため、介護・福祉・医療の幅広い相談を受ける相談会を町内各地区で開催しました。

なお、令和2年度も引き続き、介護福祉医療相談会に加え、お年寄りの1日電話よろず相談を実施し、相談窓口を多く持つことで幅広く総合相談を受け付けました。

【介護・福祉・医療相談会】

開催日	場所	相談者数
7月14日	温泉公民館	2人
9月15日	仙石原文化センター	0人
10月7日	箱根町役場分庁舎	2人
11月10日	箱根出張所	0人
2月8日	箱根町総合保健福祉センターさくら館	3人

【お年寄りの1日電話よろず相談】

開催日	相談者数
5月12日	2人
7月6日	1人
9月1日	1人
1月12日	1人
3月9日	2人

(5) 地域ケア会議の実施

高齢者が安心して地域で生活できるよう、個々の高齢者の多様なニーズへの対応と、保健、福祉、医療、介護等のサービスや社会資源の調整、推進を目的とする地域ケア会議を2回実施しました。

※新型コロナウイルス感染症の感染症拡大防止の観点から、内1回は書面会議にて開催しました。

【地域ケア会議】

開催日	地域	場所	参加者数
10月22日	湯本	箱根町社会福祉協議会	14人
2月5日	宮城野	書面会議	16人

【地域ケア全体会議】

日時 令和3年3月12日（金）

町内で開催してきた地域ケア会議を通し、把握された地域課題の解決のために必要な地域包括ケアシステムの構築に向け、地域ケア全体会議として意見交換を行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から開催方法を書面会議とし、出席予定であった方に当日資料を送付及び意見収集を実施しました。

II 権利擁護

(1) 高齢者虐待の防止・早期発見

・対応件数 2件

虐待の相談機関として広報誌などを通して地域住民への周知を行ったほか、日常から関係各機関・各団体と連携を図ることでの虐待の早期発見、未然防止に努めました。

(2) 成年後見制度利用支援・日常生活自立支援制度

・成年後見制度 対応件数 4件（うち町長申立要請 2件）

判断能力の低下により権利侵害に至る恐れのある高齢者に対し、制度の紹介や、町長申立てに伴う要請書の作成、親族との連絡調整や診断書作成のための受診同行など、成年後見制度の利用支援を行いました。

・日常生活自立支援事業 対応件数 3件

判断能力に不安があり適切な判断が行えない高齢者に対し、本人の意思決定を尊重した適切な福祉サービスの利用手続きや金銭管理を行えるように箱根町社会福祉協議会と連携し、日常生活自立支援事業の利用支援を行いました。

(3) 認知症高齢者等への対応

認知症高齢者、特に独居生活者の場合は複数の課題を重複して抱えている場合が多く、必要に応じて民生委員や福祉機関、医療機関、行政等と連携をしながら支援を行いました。さらに、住民の関心が高い認知症に関する知識と理解を深めることを目的に、認知症サポーター養成講座を実施しました。また1市3町の関係機関により認知症に対する普及啓発活動を行う「認知症をにんちしよう会」への活動へ参加し、普及啓発のためのイベントに参加しました。

【認知症サポーター養成講座】

開催日	対 象	参加者数
1月29日	豊栄荘職員	7人

【認知症関連事業】

開催日	内 容	参加者数
9月23日	認知症普及啓発イベント 会場 箱根町役場本庁舎	42人
12月 6日	小田原・箱根のつどい 「認知症介護家族交流会」 会場 小田原市生涯学習センターけやき	33人
〃	小田原・箱根のつどい 「認知症講演会」 会場 小田原市生涯学習センターけやき	89人

(4) 行政書士による高齢者無料相談会

町内在住の高齢者やその家族を対象に「成年後見」「遺言」「相続」等に関連した悩みについて、専門家に無料で相談できる機会の提供として、一般社団法人コスモス成年後見サポートセンター神奈川県支部小田原西地区と共催により無料相談会を実施しました。

【行政書士無料相談会】

開催日	場 所	参加者数
7月13日	箱根町役場本庁舎	4人
8月 3日	箱根町役場分庁舎	1人
10月27日	仙石原文化センター	2人
11月12日	箱根町役場本庁舎	5人
12月17日	箱根町総合保健福祉センターさくら館	3人

※ 3月26日 箱根町役場分庁舎で開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止となっています。

Ⅲ 介護予防ケアマネジメント

(1) 地域支援事業における介護予防活動の実施

運動機能の低下等介護予防事業が必要な高齢者に対し、訪問やアセスメントを実施し、町主催の介護予防教室等へのつなぎや必要な助言を行うなど、介護予防に努めました。

(2) 予防給付に関する介護予防ケアマネジメントの実施

介護保険における要支援認定者に対してアセスメントを実施し、必要に応じて介護予防ケアマネジメントを行い、介護予防サービス（介護保険）の利用や民生委員による見守り、地域のサロン活動への参加など、様々な社会資源の活用や、助言等により介護予防に努めました。

【平成 28 年度～令和 2 年度 介護予防サービス・総合事業延べ利用者数】

	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R1 年度	R2 年度
要支援 1	606 人	515 人	708 人	531 人	488 人
要支援 2	595 人	524 人	642 人	613 人	603 人
事業対象者	-	0 人	3 人	20 人	16 人
合 計	1,201 人	1,039 人	1,350 人	1,164 人	1,107 人
月平均人数	100.08 人	94.45 人	112.5 人	105.81 人	100.63 人
前年度比	+13.73%	△13.49%	+29.93%	△13.78%	△4.89%

【平成 28 年度～令和 2 年度 要支援認定者数推移】

	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R1 年度	R2 年度
要支援 1	74 人	60 人	85 人	77 人	73 人
要支援 2	69 人	62 人	91 人	84 人	88 人
合 計	143 人	122 人	176 人	161 人	161 人
前年度比	△0.69%	△14.69%	+44.26%	△8.5%	±0%

(3) 介護予防の普及・啓発

日常的な相談において介護予防に関する助言等を行ったほか、地域住民を対象とした介護予防講習会の開催や敬老会、老人福祉大学等への参加を通して介護予防の普及・啓発に取り組みました。また、住民からの評価の高いシニアのリハビリ教室の内容として「正しい歩き方」をテーマに介護予防講習会を開催し、介護予防の普及・啓発に務めました。

【介護予防講習会の概要】

開催日	場 所	内 容	参加者数
10月22日	山崎集会所	テーマ 「はつらつシニア運動教室」 ・正しい歩き方教室 講師：箱根リハビリテーション病院	13 人

12月 3日	箱根町総合保健 福祉センター さくら館	テーマ 「はつらつシニア運動教室」 ・正しい歩き方教室 講師：箱根リハビリテーション病院	6人
--------	---------------------------	---	----

IV 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業（ケアマネジャーへの支援）

(1) ケアマネジャーのネットワーク構築、日常的個別指導・相談

日常的な相談に応じるなど、ケアマネジャーの資質向上に向けた支援を行いました。

(2) 支援困難事例等への側面支援

支援困難事例を抱えるケアマネジャーに対して、具体的な支援策を検討し助言等の支援を行いました。令和2年度は、同行訪問を積極的に行うなど、事例に対しての支援を行うとともに、事例を通じてネットワークの構築、ケアマネジャーの実践力向上に向けたサポートを行いました。

(3) 箱根町居宅介護支援事業者連絡会への参加

はこねケアマネの会の企画・運営を行い、所属するケアマネジャーを対象に、資質向上や各機関との連携強化、地域ケア会議の報告、及びケアマネジャーとの意見交換を行いました。ケアマネジメント業務での支援方法や地域資源の活用などの実務上の具体的な情報交換がなされました。

【はこねケアマネの会概要】

開催日	場 所	内 容	参加者数
6月 30日	箱根町総合保健福祉 センターさくら館	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度事業報告及び令和2年度事業計画(案)について 町内ケアマネジメントの提供状況及び今後について 不足している社会資源・町への要望等 令和2年度ケアマネの会の体制について(会長・副会長改選) 	10人
10月 2日	箱根町総合保健福祉 センターさくら館	<ul style="list-style-type: none"> 事例検討 町内にある社会資源について 	8人
3月 17日	ZOOM 会議	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度地域連絡会議研修報告 住民主体による生活支援サービスについて 介護保険制度改正について 	9人

V その他

(1) 学生を対象とした福祉教育（箱根町福祉課より依頼）

開催日	場所	内容	参加者数
2月19日	箱根中学校	中学3年生を対象とした福祉教育「認知症について」	62人

(2) 各介護保険事業所運営推進会議への参加

開催日	場所	内容	参加者数
11月28日	ハートフル デイサービス安養	テーマ 「令和2年度第1回ハートフルデイサービス安養 運営推進会議」	8名
3月25日	ハートフル デイサービス安養	テーマ 「令和2年度第2回ハートフルデイサービス安養 運営推進会議」	8名

(3) 職員のスキルアップ

地域包括支援センターの業務に必要な知識や技術の習得を目的とした各連絡会や研修会へ参加しました。

- 地域包括連携会議
- 主任介護支援専門員養成研修
- 主任介護支援専門員更新研修
- 認知症キャラバンメイト養成研修
- 地域包括支援センター現任者研修（基礎編）
- 地域包括支援センター現任者研修（現任者総合編）
- かながわ成年後見推進センター法人後見担当者養成研修
- かながわ成年後見推進センター法人後見担当者現任者研修
- ゲートキーパーフォローアップ研修
- 全県版コグニサイズ入門地域ミーティングウェビナー
- ひきこもり講演会

神奈川県共同募金会箱根町支会

神奈川県共同募金会箱根町支会として一般（赤い羽根）募金及び年末たすけあい募金を実施しました。その他各地域で発生した災害に関する災害義援金活動を実施しました。

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、街頭募金や学校募金等の募金活動が例年通り実施できない状況となりましたが、新たにインターネットを活用した募金等に取り組み、共同募金実績は、前年度を大幅に上回る結果となりました。

○ 一般共同募金配分金事業

一般（赤い羽根）募金結果

目標額 1,510,000 円

実績額 1,834,582 円（対前年度比 +497,898 円）

《街頭募金活動の実施》

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から開催を中止としています。

○ 年末たすけあい配分金事業

年末たすけあい募金結果

目標額 1,700,000 円

実績額 1,937,407 円（対前年度比 +291,607 円）

○ 第43回神奈川県福祉作文コンクール

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から開催を中止としています。

○ 共同募金功労者表彰・感謝

本支会より推薦を行った1団体が受賞をされました。

団体 むつみ会様〈神奈川県共同募金会会長感謝〉

○ 災害義援金の募集

災害義援金実績額

実績額 83,549 円

対象 令和2年7月豪雨災害義援金

全国における災害時の義援金について、ホームページ等により義援金の募集を行いました。なお、災害義援金募集のための街頭募金については、新型コロナウイルス感

染症拡大防止の観点から中止とし、新たに教育機関や福祉関係団体への募金箱の設置を行いました。募金された義援金は全額被災地社協へ送金しました。

《災害義援金街頭募金活動の実施》

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から開催を中止しております。

《ホームページによる災害義援金の募集》

- 令和2年7月福岡県豪雨災害義援金（福岡県共同募金会）
- 熊本県南豪雨災害義援金（熊本県共同募金会）
- 令和2年7月豪雨災害義援金（中央共同募金会）
- 令和2年7月島根県豪雨災害義援金（島根県共同募金会）
- 令和2年7月佐賀県豪雨災害義援金（佐賀県共同募金会）
- 令和2年7月山形県豪雨災害義援金（山形県共同募金会）
- 令和3年2月福島県沖地震災害義援金（福島県共同募金会）